株式会社
エム・システム技研

電子機器専用避雷器 ***M•RESTER*** シリーズ

# 取扱説明書

超高耐量、高速形
## 信号用避雷器

形 式
MMDH

## ご使用いただく前に

**このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。**

**■梱包内容を確認して下さい**
**・避雷器** ..... 1 **台**

**■形式を確認して下さい**
**お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペックラベルで形式を確認して下さい。**

**■取扱説明書の記載内容について**
**本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線の取扱いおよび簡単な保守方法について記載したものです。**

## ご注意事項

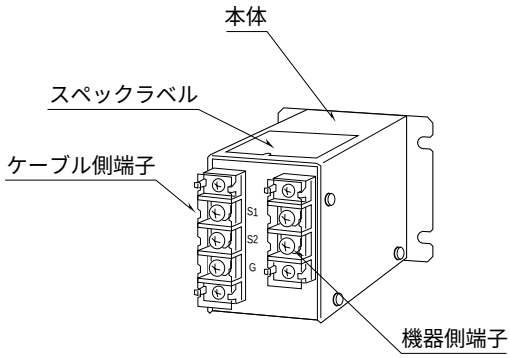
**●設置について**
**・屋内でご使用下さい。**
**・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。**
**・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。**
**・周囲温度が**-5～+55**℃を超えるような場所、周囲湿度が**30～90 % RH**を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。**

**●絶縁耐圧試験について**
**絶縁耐圧試験は行わないで下さい。本器内部にて放電素子がケースアースしてありますので絶縁耐圧試験を行うと線－接地間の素子が放電を起こします。**

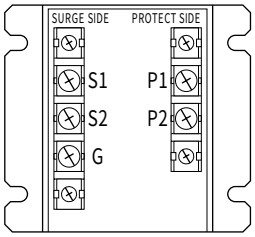
**●定格電流について**
**保護したい機器の定格電流が**M•RESTER**の最大負荷電流を越えないことを確認して下さい。**

**●その他**
**緊急時のために、予備の**M•RESTER**をご準備いただくことをお勧めします。**

## 各部の名称



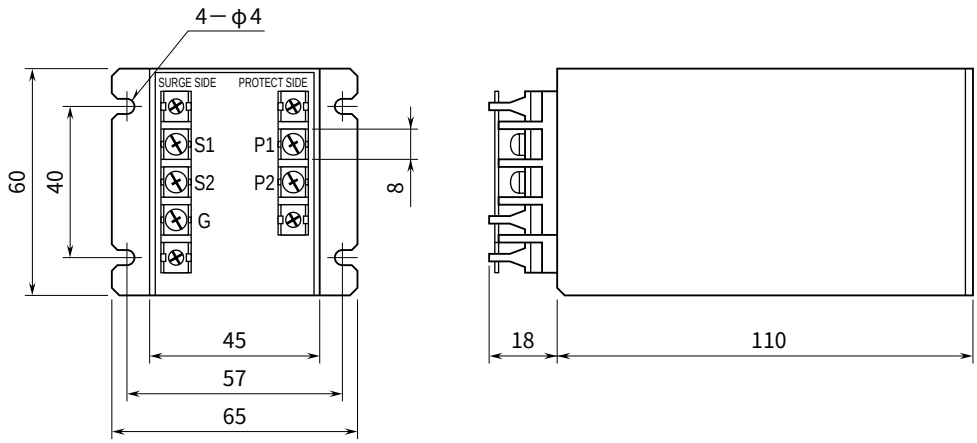

**■前面図**



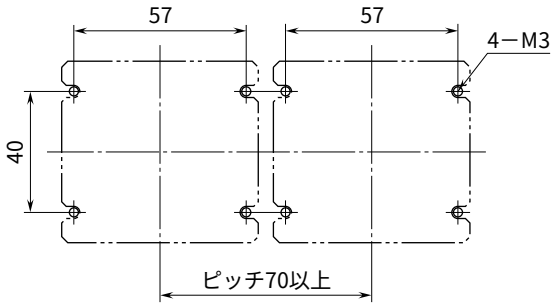
# 取付方法

**下図の外形寸法図および取付寸法図を参考に行って下さい。**

## 外形寸法図（単位：mm）



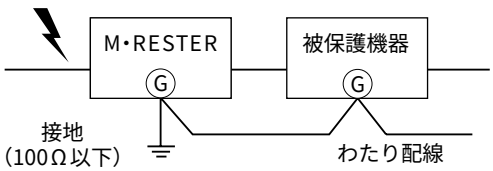

## 取付寸法図（単位：mm）




# 接　続

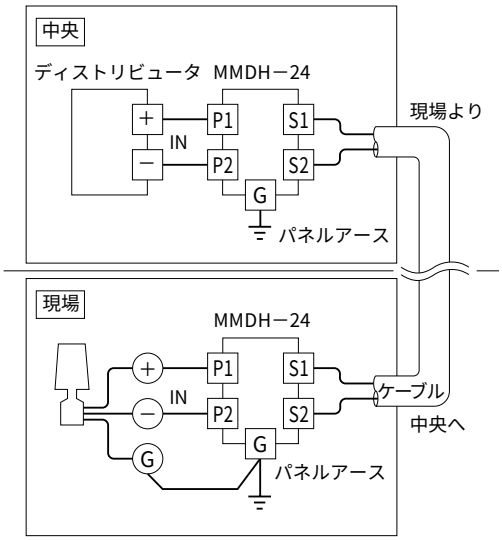
**各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。接地用端子（G）は保護される機器のきょう体とわたり配線をして必ず接地して下さい。（100 Ω 以下）**

## 必ずわたり配線を！（アースのとり方）




被保護機器のきょう体とM･RESTERの
接地用端子を必ずわたり配線して下さい。

## 結線要領図



## 主な機能と動作

MMHD は、DC 4～20 mA などの DC 24 V 以下の計測信号に使用し、信号ケーブルに侵入する誘導雷サージから電子機器を保護します。放電耐量が高いので、雷発生の多い地域に最適です。

## 保　守

点検は、定期的に行って下さい。
雷の発生は、気付かない場合が多く、遠雷の場合でも誘導サージはよく発生することがあります。本体の劣化を発見するためにも、雷シーズンの前と後の年2回程度、定期的に点検を行って下さい。また、大きな雷があったときは、その都度必ず点検して下さい。
点検は下記の要領で行って下さい。

**■点　検**

1、結線要領図に従って結線がされていますか。
- 接地用端子（G）が保護される機器のきょう体に接続されていますか。
- 接地用端子（G）は接地されていますか。

2、放電動作は正常ですか。
配線を外してから、次の端子間をテスタの高抵抗レンジで測定して下さい。無限大であれば正常です。
（S1）－（S2）、（G）－（S1）、（G）－（S2）
また、次の各端子間を DC 500 V メガーで測定し、各端子間が放電していることを確認して下さい。
（メガーの指示が振切れます。）
（S1）－（S2）、（G）－（S1）、（G）－（S2）

3、2 の項目にて異常が認められた場合には、本体が劣化していますので、交換して下さい。

## 保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。